

地層の剥ぎ取り標本ってあもしろい!

開催期間：2025年3月15日(土)～2025年6月15日(日)

開催場所：栃木県立博物館 自然系テーマ展示室



左の写真は、地層を剥ぎ取っているようすです。

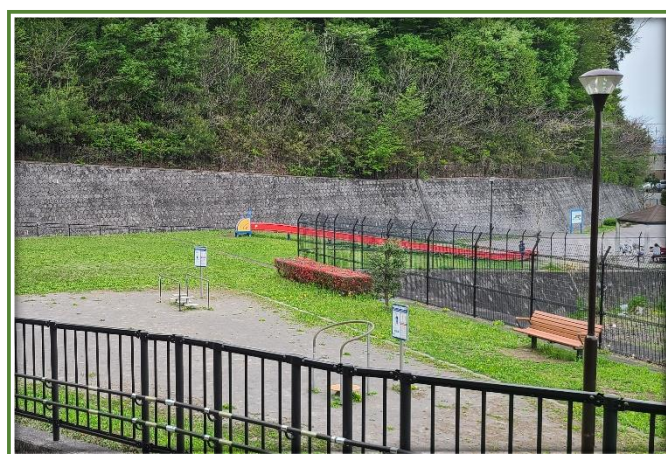
私たちが立っている大地は、土台となる岩盤の上に、礫や砂、泥、火山灰などが積もってできています。海岸沿いや切り出した斜面がある場所では、積もった砂や泥、火山灰などが層状に重なっているのを見ることができます。このような層(地層)が見られる野外の場所を露頭といいます。

剥ぎ取り標本は、露頭の表面を原状のまま剥ぎ取ることができるため、持ち帰って地層を詳細に観察することができます。また、露頭は、建築物や植生に覆われることがあるため、剥ぎ取り標本は地層の記録を残す意味でも重要な役割があります。



宇都宮市中里原にある公園。この公園を整備した際、地表には過去に降り積もった地層が現れました。

左：2009年
右：2024年



過去には左のように地層が現れていましたが、現在は、崩れた土砂や植生に覆われています。

左：2008年
右：2020年

